



当別のまちを紹介する 当別高校の青春フットパス

フットパスって何?!

フットパスとは、イギリスを発祥とする「森林や田園地帯、古い町並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと【Foot】ができる小径（こみち）【Path】」のことです。

イギリスではフットパスが国土を網の目のように縫い、国民は積極的に歩くことを楽しんでいるとのこと。

高校が取り組む理由

本校の園芸デザイン科で、造園の授業において、地域の景観を見つめ、総合的に造園を考察させたいという思いがありました。特に五感を発揮させながら、じっくりと歩くことは、いろいろな発見につながるのではないかと思いフットパスに関心を持ちました。実際に行なってみると、参加者が当別の景観や農産物等の地域資源の魅力だけではなく、生徒たちとの交流を求めていることがわか

近年、日本においてもさまざまな地域の特徴を活かした魅力的なフットパスが整備されてきています。

当別高校で平成26年度から実施しているフットパスは、整備されたコースはなく、高校生たちが景観やまちの紹介ポイントなどを考え、毎回コースを選定しています。私有地を通る場合は、事前に所有者から承諾をいただいています。

りました。青春まっさかりの高校生を人的資源として捉え、この取り組みを「当別青春フットパス」と名付けました。園芸デザイン科だけでなく、家政科ともタイアップして取り組んでおり、今後は普通科とも連携して学校全体の取り組みにできないかと考えています。

北海道当別高等学校

園芸デザイン科 とう ぼ まさ ひろ 東 穂 公 洋 教諭

企画運営は全て 生徒たちで!

園芸デザイン科グリーンコースの生徒が、当別町の紹介ポイントや美しい自然のあるところを選びながら、参加者の皆さんに楽しんでもらうように一生懸命にフットパスコースを検討しています。今年は5回の開催予定です。完成した地図も、温かみのある手書きの地図で、参加者への気遣いが伝わってきます。



少数の班に分かれてコースを選定



コースの下見をしている様子



完成したコース地図 (第3回【9月10日実施】)

高校生が紹介 まちを知るチェックポイント

劉連仁の記念碑

劉連仁さんは、昭和19年9月に中国の山東省から北海道沼田町の明治鉱業昭和鉱へ炭鉱労働者として送られ、昭和20年7月、鉱業所での屈辱に耐えきれず脱走。昭和33年2月までの間、終戦を知らずに13年間、北海道の山中での逃避行を続け、当別町で偶然に発見・保護されました。



←劉さんが隠れていた
洞穴をイメージした
記念碑



ここに記念碑を作成した→
有名な彫刻家の名前が！

水田発祥の地

北海道で初めて水田を成功させたのが、中山久蔵さんで明治6年島松でのことといわれていますが、その一年前にここ当別で成功した人物がいた可能性があります。それは、瀬戸勘三郎さんという方で、ここ水田発祥の地にはそのことが書かれた石碑が建っています。



←石碑の表側



石碑の裏側→
ここに当時の事
が書かれている

金沢橋

当別川に架かる金沢橋から上流側を眺めると、兩岸の緑の先に遠く阿蘇岩山が望めます。下流側に目をやると、JR学園都市線の鉄橋があります。列車が鉄橋を渡る時の「ガタン、ゴトン」という響きが川面から伝わってきます。



←金沢橋から眺めた
阿蘇岩山



列車が渡る鉄橋→

校長も応援！！

本校の園芸デザイン科で取り組んでいる青春フットパスは、授業では教えきれない歴史、産業など地域のさまざまな特徴を学ぶものとして、とても効果があると思います。この取り組みは、園芸デザイン科だけではなく、家政科とも連携し、当別の食材を使った昼食を提供しています。異なる学科が連携して、事業に取り組むということは非常に良いことです。参加者からも、「歩いて楽しかった」というお話もいただいているようですし、口伝えに広まってリピーターの方も多くいると聞いています。この取り組みが、今後も継続できるように、見守っていきたいと思います。



北海道当別高等学校
田村 俊行 校長

フットパスの注意点

フットパスは、その地域の「昔からあるありのままの風景」を楽しむ道です。

その風景は、自然に出来上がったものではなく、地域の方々の長年に渡る自然への働きかけや、風土に根ざした伝統的な生活スタイル、土地への愛着などの結果として生み出され、維持・管理され

てきたものです。そのため、地元の方々への感謝の気持ちをもって行動し、道を外れて田畑・樹林・屋敷などへの立ち入りやゴミの放置、動植物・山菜・農作物の採取などの行為は、絶対に行わないでください。

家政科生徒が作る 当別食材のおいしい昼食

第1回【5月21日実施】

グループリーダー 澤岡 渚さん (3年生)



当日のメニュー

豚丼、うどの味噌汁、
ウドの和え物（ゴマ、酢
味噌、クルミ、和風）、イ
タドリの芽の酢味噌和え、
かわちばんかん
河内晩柑のゼリー

豚肉、ウド、イタドリは当別で手に入れた食材です。河内晩柑は姉妹都市の愛媛県宇和島市産を使用しました。豚丼は何個もの鍋を使って作ったので、豚丼の味付けを統一するのに苦労しました。ウドの皮むきも大変でしたが、参加者が喜んで食べてくれたのでうれしかったです。



第3回【9月10日実施】

グループリーダー 花原未姫さん (3年生)



当日のメニュー

カレーライス、トマトの
マリネ、ほうじ茶プリン

豚肉、ジャガイモは当別で手に入れた食材で、ジャガイモは園芸デザイン科で作ったものです。大根やキュウリのピクルスを作る予定でしたが、試作で彩りが悪くなってしまったので、トマトのマリネに変更しました。ほうじ茶プリンもおいしくできました。



当別青春フットパス、専門家は！

当別高校の生徒の多くは町外からの生徒と聞いていますが、良く地域の事を勉強してガイドを立派にやっていると思います。当別に来たのだから、当別の事を勉強する。そうすることで、地域に愛着がわき、生徒たちにとって「第二のふるさと」と思えてくるのではないのでしょうか。高校生が企画するフットパスは非常に珍しくここまでしっかりしたものは、国内にはないといっても過言ではないと思います。

また、昼食や歌などのパフォーマンスもおもてなしの心として、とても大切なものであり、参加者も大変喜んでいようです。高校生にとって世代が違う参加者と話をする機会があるのは、高校生のスキルアップにもつながり、社会に出た時にこの経験が生きてくると思います。これからも地域の事を勉強して、参加者といろいろな会話ができるようなガイドを目指していただければ、さらに良いものになるのではないかと思います。



青春フットパスに
初めから関わる
NPO 法人ふらっと南幌
副代表理事
近藤長一郎さん

リーダーを経験して思うこと



第3回
青春フットパスリーダー
岡村 漣さん
(3年生)

第3回の「平和への感謝」をテーマとしたフットパスのリーダーとしてさまざまな経験をさせていただきました。リーダーは先頭を歩いて、参加者を誘導する立場なのでコースを覚えることと、そのコースでどんな会話ができるかなど、フットパス成功のためにいろいろと考えました。事前の準備も大変でコース図の作成や参加者の名札、昼食を用意してくれる家政科との調整など普段授業では行わないことなので、とても大変でした。一生懸命に取り組みましたが、当日にコースを間違ってしまったことに少し悔いが残っています。この取り組みを通して、世代の違う方々と話をする自分の知らない事を教えてくれることもあるので、人と話することは大切だと思いました。

3回目 9月10日実施の 青春フットパス参加者からは

毎回参加の札幌市在住
大宮睦男さん 登久子さん 夫妻

札幌に住んでいると近隣の市町村は車で通りすぎるだけでした。最近では、まちを知ろうと車を止めて、歩くようにしています。ささいなきっかけでこのフットパスに参加するようになりましたが、まちの事を知っている人と歩くとまちのいろいろなことを教えてもらえるし、相手が若い高校生なので、話をしながらとても楽しく参加させてもらっています。これからも参加したいです。

初めて参加した北広島市在住
今 善三郎さん

自然ガイドをしていて、たまたま、このフットパスの事を知って初めて参加しました。歩いている時に面白い草を多く見かけたので、少し止まって説明があるともっと楽しめるのではないかと思います。高校生が主体となってやっていることはとても良いことで、卒業後に社会人として生きていくうえで、今のうちからいろいろな人と会話をし、経験を積んで欲しいですね。

全国カレッジフォーラム 高校生で唯一の発表者の思い



フォーラムで発表した
おさだこうた
長田滉太さん
(3年生)

8月20日・21日に札幌市で開催された全国カレッジフットパスフォーラムに参加し、大学生が活動報告する中、唯一の高校として「当別青春フットパス」の活動について発表してきました。平成26年度から取り組んできた内容を大勢の方に聞いていただいたことで、僕たちの活動を理解してもらえたと思います。自信をもって発表できたので、関係者の方からは、「良い発表だったよ」と声をかけていただいて、とても励みになりました。フットパスの活動の中では、「君が楽しくしてくれると私も楽しい」と言ってくれた参加者もいて、人と接する大切さを学びました。今後は、人を楽しませるような仕事に就きたいと考えています。

私達と一緒に
当別のまちを
楽しく
歩きませんか？

開催予告

第4回 10月8日(土)
第5回 11月12日(土)

いずれも6～8km程度のコース
昼食は家政科の生徒のオリジナルメニュー
参加費は700円(昼食代及び保険代)
申込みは電話・FAX・E-mailのいずれかの方法で。



お申し込み・問合せ先

北海道当別高等学校 園芸デザイン科

☎ 0133-23-2444
FAX 0133-23-2380
E-mail toubetsu-z1@hokkaido-c.ed.jp